

## 翼小学校区テーマ

を含めた全体の医療体制については、現在の開業医の方からも、入院を要する患者を市立病院へ紹介する事例もありますので、肺炎などの経過観察入院については、豊田会になりましたも引き続き受け入れをしていただけます。また、一般病床についても、医師の確保ができれば、設置していただけるように粘り強く交渉してまいります。

③救急患者と時間外の受け入れについては、現在医師不足により診療体制が弱体化しており、また、医師の加重労働も発生しますので悪循環とならないためにも時間外および夜間、救急につきましては、現在受け入れておりません。

市立病院の来院者数について、最近の通常来院者数は1日平均100〜130人くらいの患者さんが来院しています。入院患者数については、40〜43人の方が入院をされています。



## 『災害時の行政、町内会、まち協いの連携について』

### 神明町・豊田町町内会から質問

災害から地域の住民や財産を守るためには、日ごろから地域と行政が連携して体制を整えることが必要です。行政と町内会、まち協が連携して取り組まなければならぬ防災対策について、他の地域の例を交えながら説明をお願いしたい。

### 生活安全グループから説明(回答)

翼小学校区では、各町内会の防災倉庫などに発電機などの資機材が保管されています。今後は地域内で資機材の情報共有をお願いします。

備蓄倉庫に県の被害予想に基づいた量の食料品を整備しています。高浜南部地区では、まち協の予算で非常食を購入し、保管しています。市の備蓄量では限界がありますので、各家庭で最低3日分の食料と飲料水の備蓄をお願いします。高取地区では要援護者支援のため、町内会理事と民生委員との意見交換や避難訓練などを予定しています。避難所の運営は行政だけでは限界があるので、ご自身やご身内に被害が少ない場合は協力をお願いします。

市内小中学校の校舎・体育館は、すべて耐震工事が完了していますので安全が確保されています。

## 『財政改革について』

### 湯山町町内会から質問

今後、金融危機が必ず来るような状況の中で、市はどのように対策をとっていくのかをお聞きしたい。

### 財務経理グループから説明(回答)

地方債の残高は順調に減っています。今年度末は一般会計100億円、市全体では200億円程度になる見込みです。平成15年度以降は公共施設の建設など、借入を行ってまで大規模事業を行わず、住民一人あたりの借入残高も全国市町村の平均などと比べても低い額となっています。今後も、アウトソーシングや事務改善などにより行政のスリム化、人件費削減などに努めます。企業誘致など新たな財源の確保に努め、今後もプライマリーバランス黒字を維持していくことが目標です。

## 『新型インフルエンザへの取り組みについて』

### 湯山町町内会から質問

新たに開発されたワクチンの有

効性や、新型インフルエンザに対する市の対応について、説明をお願いしたい。

### 保健福祉グループから説明(回答)

新型インフルエンザは発生すると人口の4人に1人が感染するといわれており、高浜市では約一万一千人の感染が見込まれています。鳥インフルエンザに効果のあるプレパンドミックワクチンは国が1千万人分用意しています。市では、発生前に新型インフルエンザに対する正しい知識の普及、予防対策、感染防止対策などを行い、今後作成予定の実施計画に基づき食料・日用品等必要物資を確保します。

発生後は、「愛知県新型インフルエンザ対策本部」と国が連携して、その規模に応じた地域封じ込め策などを決定し、高浜市もその方針に基づき対策を実施します。市民の皆さまには、順次最新の情報を提供してまいります。

### 【質問】

Q1 新型インフルエンザについて市の取り組み、計画の説明がありました。期限を設けて策定することも必要だと思えます。具体的な期限は決まっていますか。

### A1

平成17年に作られた国の行動計画は国と地方の役割分